

平成 27 年度 水資源機構営事業（両筑平野用水二期事業）
再評価結果とりまとめに係る関係団体からの意見聴取について

機 関：福岡県、2市2町、1 土地改良区 計6団体

方 法：文書による意見聴取

実 施：平成27年5月27日～平成27年6月11日

関係団体からの意見の概要：

関係団体は、本地域が、両筑平野用水により、水稻、麦、大豆の土地利用型農業を中心に野菜、果樹などの栽培が営まれ、福岡県内有数の農業地域として発展してきたことから、今後も、両筑平野用水による用水の安定供給は重要かつ不可欠であると考えている。このため、安定した用水供給や配水管理、維持管理軽減のために老朽化した施設の改修を行うとともに迅速な配水対応を可能とする水管理システムの導入を実施する両筑平野用水二期事業の早期完成を要望している。

なお、事業実施にあたり、関係団体や受益者への負担軽減のために、コスト削減に努めるとともに、環境に配慮した工事を実施することを要望している。

各関係団体からの意見の内容：

関係機関	意 見
福岡県 農林水産部	両筑平野用水施設は、昭和 5 0 年の事業完了以来、朝倉市、小郡市、筑前町、大刀洗町の 2 市 2 町の農業用水や福岡市、朝倉市の水道用水、朝倉市の工業用水を供給し、2 市 2 町及び福岡市だけでなく福岡県の経済発展に貢献する重要な施設です。 両筑平野地域では、水稻、麦、大豆の土地利用型農業を中心に園芸作物の導入も進み、県内でも大変重要な優良農業地帯となっています。 当地域が、今後も優良農業地帯として持続的に発展していくには、両筑平野用水による農業用水の安定供給がなければ図れないものであり、<u>老朽化した施設の改築や更新、迅速な配水対応を可能とする水管理システムの導入を行う、両筑平野用水二期事業の 1 日でも早い完成とともに、コスト削減の徹底と効率的な事業運営を要望します。</u>
朝倉市	本市は、<u>江川ダム・寺内ダム・筑後川などの水資源に恵まれており、基幹産業は農業で「水稻、麦、大豆、野菜、果物」などを主体とした近代農業が営まれ、県下有数の農業地域となっています。</u> 両筑平野用水は、当市の営農に必要な用水を安定的に供給し、農業の持続及び発展のために重要な役割を担っている施設であり、また、水道用水、工業用水の供給も行っており、当市にとって非常に重要な施設であります。 <u>本事業の早期完成により、老朽化した施設の改修・水管理システムの導入を行い、農家及び施設管理者の負担軽減を図っていただきたいと考えております。</u> <u>また、コスト削減対策に配慮していただき、関係自治体・農家の経費負担の軽減に努めていただくこと、及び環境に配慮した工事の実施に努めていただきますよう要望いたします。</u>

関係機関	意 見
小郡市	本市は筑紫平野の西側に位置し、市北東部については両筑平野用水等を水源とした土地改良事業による農業基盤整備事業の推進を図り、水稻、麦、大豆等の農業生産については県下でも上位となっている状況の中で農業用水の安定供給は不可欠となっています。 両筑平野用水は施設の整備後約40年が経過して施設の老朽化が進み、漏水によって通水に支障が発生し、農業経営に影響が生じていました。 現在は両筑平野用水二期事業による事業の進捗とともに漏水事故も解消され、農業用水の安定供給が行われるようになりました。 今後の両筑平野用水二期事業の実施にあたりまして、事業の早期完成及び事業費のコスト縮減による関係自治体、農家負担の軽減に努めていただくよう要望します。
筑前町	本町の農地の大半が両筑平野用水事業の受益地であり、水稻・麦類・大豆を中心とした農業を展開し、平成25年度の生産量は上位を占めており県内有数の農業地域である本町にとって、両筑平野用水による安定した用水供給は非常に重要である。 既存の両筑平野用水施設は、完成後共用開始して相当な年数が経過し、施設が老朽が起因した埋設管からの漏水が複数箇所が発生し用水系統における不要な維持管理作業が発生しており、安定的な用水供給に支障を来していたが、両筑平野用水二期事業により老朽化した施設が改修され、再び安定した用水供給及び維持管理の軽減が図れることを強く望まれる。 両筑平野用水二期事業の早期完了と地元負担軽減に配慮した形での事業運営やコスト縮減により一層努めていただきたい。
大刀洗町	両筑平野用水施設は、本町も含め、当該地域の農業に必要な施設であり、用水の安定した供給が、本地域の農業の発展に寄与している。両筑平野用水施設が完成してから数十年が経過し、老朽化による漏水事故に関しては、当該地域の農業に影響を与えることが懸念されるため、両筑平野用水二期事業により老朽化した施設を改築することは、地域の農業の為には非常に大切であり、両筑平野用水二期事業の早期完成が望まれる。
両筑土地改良区	両筑平野用水は、昭和50年の通水から、当地域の農業の発展に多大な貢献をしてきました。 当地域は、水稻・麦類の二毛作や、水稻の転作作物としての大豆の作付が県内の生産量で上位に入っており、近年では、施設栽培されたねぎが「博多万能ねぎ」としてブランド化されており、全国に流通されるなど、県内でも有数の農業地域であることから、両筑平野用水の安定的な用水供給と適正な配水が強く望まれます。 現在実施中の両筑平野用水二期事業により、老朽化した施設の改築や配水管理の効率化のための水管理システムの導入が行われることで、より安定した通水が実現し、関係者は事業の早期完成を期待しているところであります。 要望としまして、受益者への事業費負担軽減を念頭に、事業費コストの縮減に努めていただきますようお願い致します。

凡例

1. 両筑平野用水の役割に関する意見： _____
2. 施設改築に関する意見： _____
3. 配水管理、維持管理に関する意見： _____
4. 事業の早期完成、コスト縮減に関する意見： _____